

インフルエンザが心配な季節です

保存版

受診して確認を

発症後12時間以降、48時間以内が最適とされています。

鼻水や喉の
分泌液をとって
検査できます。



主な症状

急激な高熱・頭痛
腰痛関節痛
全身倦怠感
咳鼻水など
呼吸器症状



治療のポイント

48時間以内に
抗インフルエンザ薬
の治療開始
脱水予防・安静
バランスの良い食事



もしも、かかってしまったら・・・学校保健法で、出席停止期間が定められています。

インフルエンザ出席停止期間早見表 <乳幼児（保育園・幼稚園）2012年改正>

発熱期間	第0日目 発症当日	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	第7日目	第8日目	第9日目
1日間		解熱 					登園可能			
2日間			解熱 				登園可能			
3日間				解熱 				登園可能		
4日間					解熱 				登園可能	
5日間						解熱 				登園可能

1日のうちで、発熱・解熱をとともに認めた場合は、発熱期間とします。

・インフルエンザ発症日を0日と数え、5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで

（小学生以上は解熱後2日間、幼児は1日長くなります）

- ・抗インフルエンザ薬の治療（内服5日間）が終わっていること
- ・保護者が記入する「登園届」を提出してからの登園になります。

※2022年11月より

インフルエンザに罹った後の登園については医師が記入する「意見書」から保護者が記入する「登園届」に変わりました。



家族がインフルエンザにかかったら・・・

できれば登園を控えていただければありがたいです。（1～3日の潜伏期間）

家庭内でもなるべく接触をしないように工夫しましょう。

家庭でもマスクをしましょう。寒いけれど1時間に1回以上は換気をしましょう。

空気を乾燥させないようにしましょう。

発症者の送迎はご遠慮ください。

